

ビジネスプランニング実践塾

第Ⅵ期 塾生募集

主催 ● 現代経営学研究所
後援 ● 神戸大学大学院経営学研究科
大阪産業創造館 おおさかなレッジフロンティア推進機構

指導担当 ● 神戸大学大学院経営学研究科 教授 忽那 憲治(くつな けんじ)
<http://www.b.kobe-u.ac.jp/kutsuna/>

事業・金融環境の不確実性が高まる中で、高度な判断を要する意思決定を行うためには、
「ビジネスプランニング力」の向上が不可欠になってきています。

欧米における長年のMBA教育で構築されてきたビジネスプランニングに関する基礎理論に立ち返り、
御社の実践(自らの経験)を見つめ直してみませんか。

開催趣旨

中小企業やベンチャー企業の経営者は、不確実性の高い事業環境下で高度な経営的意思決定を行うために、ビジネスプランニングとそのためのファイナンスに関わる知識の習得が不可欠です。いくら素晴らしい事業アイデアや技術を持っても、ファイナンスの知識なくしては、リスクマネジメントを行いながら成長のための資金を調達することも、調達した資金を有効に投資することもできません。こうした状況は、大企業の新規事業担当者についてもまったく同じです。

中小企業やベンチャー企業経営者の勘と経験に頼った経営は、高いリスクをはらんでいます。経営者の右腕となり、事業のリスクについて分析しアドバイスできる能力を持つCFO人材の育成が、中小企業やベンチャー企業においても欠かせなくなっています。

中小企業やベンチャー企業を対象とするコンサルタントや顧問税理士・会計士・中小企業診断士の方々についても、ビジネ



対象者

ビジネスプランニング実践塾は、下記に示すような中小企業やベンチャー企業の経営者とCFO(企画・財務担当者)、大企業の新規事業担当者、金融機関の中小企業向け融資等の担当者、コンサルタントや顧問税理士・会計士・中小企業診断士を対象としています。

①自社の現在のビジネスモデルが成長可能なものなのかをチ



スプランニングの知識がなければ価値のあるアドバイスを提供することはできません。

ビジネスプランニング実践塾は、基礎知識の習得にとどまるものではありません。習得した基礎知識を元にして、自社が抱える実践的課題に関して各自で分析を進めるとともに、グループ討議と全体討議を通じて意見交換を行います。こうした討議を通じて、今後ますます不確実性の高まる事業環境下においても十分競争力を持つビジネスモデルへと再構築していくことが可能となるでしょう。

最後に、中小企業やベンチャー企業経営の実践においては、異業種の経営者間でネットワークを構築しておくことが、将来の事業展開において貴重な資産になります。人的ネットワークの形成、お互いが高い目標に向かって高めあうことのできるコミュニティを構築することも、ビジネスプランニング実践塾の大きな目的です。

ェックしたいが、そのためにどのような点に注意してチェックすればよいのかよくわからない方。

②リスクをマネジメントしながら高成長を模索したいと思っているが、それを実施するためのファイナンスの基礎知識が不足していると感じている方。

③独自の方針でこれまで成長を模索してきたが、他の中小企業やベンチャー企業の経営者から幅広く意見を聞いて、ビジネスモデルをもう一度再検討したいと感じている方。

④今後の自社の成長戦略を考えたとき、ファイナンスの基礎理論を習得した財務担当役員を育成する必要があると感じている方。

⑤現在検討もしくは既に実施している新規事業が利益を生み出すものなのかをチェックしたいが、そのためにどのような点に注意してチェックすればよいのかよくわからない方。

⑥融資先の中小企業やベンチャー企業に対して付加価値あるサービスを提供するために、ビジネスプランニングやリ

スクマネジメントに関する知識の習得が必要であると感じている金融機関の中小企業向け融資等の担当者の方。

⑦顧問先の中小企業やベンチャー企業に対して付加価値あるサービスを提供するために、ビジネスプランニングやリスクマネジメントに関する知識の習得が必要であると感じているコンサルタントや顧問税理士・会計士・中小企業診断士の方。

プログラム

●個別講義

1.ビジネスプランニングの基礎①

競争力のあるビジネスモデルを構築するにあたって、どのような要素を検討する必要があるのか。
競争力のあるビジネスモデルかどうかを、どのような理論・方法を用いてチェックすればよいのか。

2.ビジネスプランニングの基礎②

顧客セグメントの明確化と自社の製品・

サービスの差別化を、どのような理論・方法を用いてチェックすればよいのか。

3.ビジネスプランニングのリスク分析①
ビジネスプランが利益を生み出すものかどうかを、どのようなプロセスで、どのような方法を用いてチェックすればよいのか。

4.ビジネスプランニングのリスク分析②

シミュレーションの技術(専用ソフトウェア)を使って、どのようにビジネスプランのリスク分析を実践すればよいのか。また、そうした

分析の結果に基づいて、ビジネスプランの改善をどのように行えばよいのか。

●グループ討議

個別講義で習得した基礎理論を元にして、自社が抱える実践的課題に関して分析を進めるとともに、4名程度で1グループを編成し意見交換を行います。

●全体討議

グループ討議を受けて、全体討議を行います。

ビジネスプランニング実践塾では、エクセルとシミュレーションの専用ソフトウェアを使いますので、エクセルがインストールされたノートパソコンを持参してください。専用ソフトウェアのインストールの方法については、改めて指示します。

より高度な知識の習得をしたい方は、ビジネスプランニング実践塾を修了後、ベンチャーファイナンス実践塾への参加をお勧めします。詳細は、下記をご参照ください。

<http://www.b.kobe-u.ac.jp/kutsuna/entre/vf.html>

スケジュール、費用等

開催会場と日程	スケジュール	応募締切
2011年 11月19日(土)～20日(日) 会場／神戸大学 梅田インテリジェント ラボラトリ http://www.b.kobe-u.ac.jp/ilabo/	1日目 10:00～12:00 ●セッション1 13:00～17:00 ●セッション2 17:30～19:30 ●意見交換・懇親会 2日目 10:00～12:00 ●セッション3 13:00～17:00 ●セッション4 17:30～19:30 ●意見交換・懇親会	※両日とも、講義終了後、メンバー間での交流や講義内容に関する質問や意見交換のために懇親会を予定していますが、これらについては自由参加(参加費は自費負担)です。 2011年 11月11日(金)

開催時間 ● 合計12時間(+意見交換・懇親会4時間) 募集人数 ● 15名

費用 ● 1人8万円(消費税5%と講義資料代を含む) ※初回開始までに全額納入をお願いします。

必要書類 ● 以下3点を添えて申込をお願いいたします。

①履歴書 ②参加動機(A4で1枚程度) ③事業内容がわかる会社パンフレットもしくはウェブのアドレス

申込み・問い合わせは

特定非営利活動法人 現代経営学研究所(RIAM)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科内(第三学舎一階)
担当: 西橋(にしはし)・若命(わかめい)

e-mail: bi@riam.jp TEL:078-803-6985、FAX:078-805-1624

現代経営学研究所(RIAM)の詳細は、HP(<http://www.riam.jp/>)をご参照ください。

●実践塾の目的やプログラムおよび塾生の詳細については、下記をご参照ください。
<http://www.b.kobe-u.ac.jp/kutsuna/entre/bp.html> 忽那 憲治著『中小企業が再生できる8つのノウハウ』朝日新聞出版、2010年。